

【患者さんの権利と責務】

患者さんの権利を尊重します。

- 1 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 2 十分な説明と情報提供を受けることができます。
- 3 他の医療者の意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
- 4 自分の意思で、治療方針を自由に選択・決定することができます。
- 5 自己の診療情報の開示を求めることができます。
- 6 個人情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

患者さんご家族の義務。

- 1 健康に関する情報を正確に提供してください。
- 2 診療内容を十分理解し、納得した上で医療を受けてください。
- 3 医療者とともに安全確認に参加し、治療に協力してください。
- 4 病院のルールに従い、他の患者さんへ迷惑にならないように努める義務があります。
- 5 医療費の支払い請求を受けた時は、速やかに対応してください。

こどもの患者さんの権利と責務

こどもの患者さんの権利

- 1 あなたは、ひとりの人として大切にされます。
- 2 あなたは、病院でもできるかぎり家族と過ごすことができます。
- 3 あなたは、病院でも勉強したり遊んだりすることができます。
- 4 あなたにとっていちばんよいと考えられる治療を受けることができます。
- 5 あなたは、病気や病気を治す方法について、わかりやすく教えてもらうことができます。そして、自分の考えや気持ちを家族や病院の人に伝えることができます。
- 6 あなたが、他の人に知られたくないことは守られます。

こどもの患者さんの責務

- 1 あなたの病気やけがが治って元気になるため、病院のいろいろなきまりを守ってください。

患者さんのご紹介はぜひFAX紹介をご利用ください

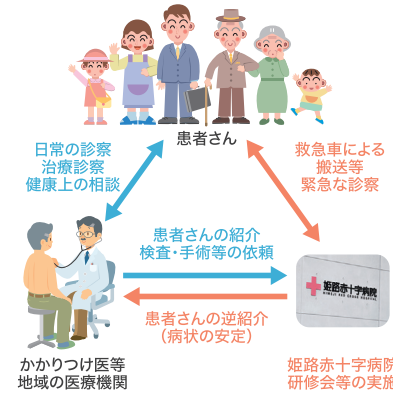
当院では、地域の先生方と緊密な連携と役割分担を図りつつ、より良い医療を提供していくことで、地域医療の充実を目指しています。

紹介状をお持ちでない患者さんが当院を受診された際は、まず、かかりつけ医を受診していただくようお願いしていますので先生方のご支援を賜りますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちでも直接来院された場合、来院された日に受診出来なかったり、待ち時間が長くなったりとご迷惑をおかけすることがありますので、是非FAX紹介をご利用くださいますようお願い申し上げます。

【患者さんにとってのメリットは?】

- 症状に応じた専門医の診察を受けることができます
- 受診日時が決定するので、スケジュール調整ができます
- 初診申込書の記載が必要ないので手続きがスムーズにできます
- 初診時選定療養費5,000円(税別)が徴収されません
- 外来での待ち時間が最小限となります



FAX紹介受付時間 平日 8時30分～19時まで 土曜日 8時30分～12時まで

診察日 原則 1週間以内 *但し、検査・診療科・診療内容により及び希望日が集中する場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先 地域医療連携課
TEL:079(299)5514(直通) FAX:079(299)5519(直通)

姫路赤十字病院だより

臨時号

発行日 令和4年4月

発行責任者 姫路赤十字病院 院長 岡田 裕之
編集責任者 広報委員長 田中 正通

〒670-8540 姫路市下手野1-12-1
電話 079(294)2251(代)
URL:https://himeji.jrc.or.jp/

姫路赤十字病院だより

Japanese Red Cross Society Himeji Hospital NEWSLETTER

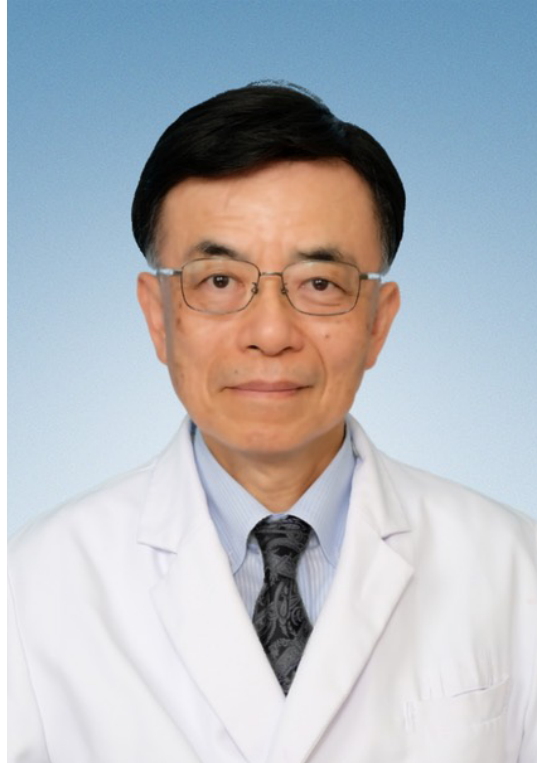
臨時号

April

2022.4

就任ご挨拶 院長 統括管理監





院長 岡田 裕之

院長就任のご挨拶

このたび佐藤四三前院長(現統括管理監)の後を引き継ぎ、4月より当院の院長を拝命いたしました。明治41年(1908年)創立、110年を超える歴史と伝統を持つ姫路赤十字病院の院長就任にあたり改めて身の引き締まる思いでございます。

私は姫路市の出身で岡山大学を卒業して専門分野として消化器内科を選びました。岡山県内の病院で臨床研修を終えた後、岡山大学病院に戻り、食道・胃・腸疾患の診断と治療に携わり、特に内視鏡診療に大きく関わってきました。また、ヘリコバクター・ピロリ感染と胃炎、胃癌、消化管リンパ腫との関連等々の研究を行ってきました。この度、岡山大学消化器・肝臓内科学教授の任を全うし無事退任し、縁あって姫路赤十字病院院長の大役を仰せつかりました。姫路日赤病院で7年前まで約9年間、月1回内視鏡検査のお手伝いをさせていただいていた以外は姫路で勤務をしたことがなく、今回郷里の姫路で勤務できることを緊張感とともに大変嬉しく思っております。

さて、政府が推し進めている地域医療構想の策定にあたり当院は救急、手術などを中心とする高度急性期・急性期医療を実践することを期待されています。一方で地域医療支援病院にも指定されており、さらに医師及び歯科医師の臨床研修指定病院にも指定されています。

高度急性期・急性期病院として

患者さんを積極的に受け入れ、質の高い医療を提供するように務めます。また、地域がん診療連携拠点病院(高度型)としても先進的ながん治療を積極的に推進していかなくてはなりません。そのためには医療者各個人が医療スキルを高めるとともに、職種および診療科の枠を超えたチーム医療が必要です。医療職間の固い絆を保ち、患者安全や危機管理能力高めることも重要と考えます。

地域医療支援病院として

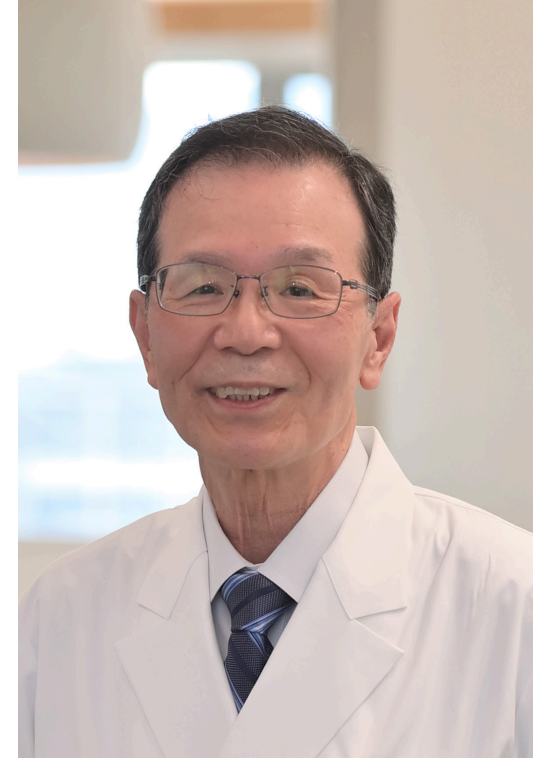
かかりつけ医である医院、診療所、施設からの紹介患者さんを積極的に受け入れて急性期治療を行います。一連の治療が落ち着いたらかかりつけ医療機関へ逆紹介して回復期、慢性期医療がシームレスに進むように調整いたします。これら病病連携、病診連携がスムーズに行くように地域医療連携室が積極的に活動します。医師会の先生方と緊密に連携をとりながら地域医療に貢献します。

臨床研修指定病院として

これまで多くの研修医、歯科研修医を育てて世に送り出しています。新専門医制度が開始され各診療科の専攻医も集まってきてくれています。若い医師が多くいることは病院が元気になり地域の活性化にも繋がります。医師数を確保することは地域の大きな課題です。若い医師にとって魅力ある病院とは何か?あるアンケート結果では、雰囲気が良い、活気がある、症例が多い、実技をたくさんやらせてくれる、救急やcommon diseaseをたくさん経験できる、熱心な指導医、忙しすぎない、楽すぎない、などが挙げられていました。これらの多くは医師以外のメディカルスタッフにも当てはまると思います。病院全体として、これからの地域医療を担う医療人の育成に力を注いでいきます。

佐藤四三前院長の強力なリーダーシップのもと実践されてきた、これらの役割を病院スタッフ全員で一致団結して、さらに充実、発展させてまいります。

医師会の関係の方々には今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



統括管理監 佐藤 四三

統括管理監 就任のご挨拶

— 新たな体制で地域医療に貢献 —

姫路赤十字病院は岡田新院長の挨拶にあるように、4月をもって新たな体制でスタートします。わたしは統括管理監を拝命されました。

日本は世界のどこもが経験していない少子高齢社会、人口減少、労働者人口の減少を迎えており、社会は大きく変化します。わたしたち医療機関は地域住民に安心な医療提供体制を整えるという、計り知れない重責を担っております。各医療機関は自院の立ち位置を確認し、機能分化する時代となり、施設間の連携をさらに深めることを避けて通り過ぎることはできません。これからの医療を見据え、特に地域中核病院では自院の機能分化は的確に行われているか、地域医療機関との連携は適切に行われているかなど、評価することが重要

です。これを最も把握しているのは最前線で医療を提供している現場の職員であり、現場の役割が重要となります。

統括管理監の職務は多方面に及んでいますが、地域医療構想を現場感覚で推進することが大きな役割の一つです。病院運営、地域医療提供体制等についてこれまでの病院長としての経験を活かして、現場の職員と共に行動、評価、改善します。時には院長同様の権限で持ってスピード感を持って改善点を改善し時代の変化に即応します。新たな病院体制により地域住民のために地域医療機関、医師会と協力し病院改善ができるものと考えます。

岡田新院長の病院運営、わたしの医療現場目線による病院運営によるこれまでにない体制となり、今まで以上に地域医療に貢献します。忌憚のないご意見ご指導よろしく申し上げます。

〔 姫路赤十字病院の理念と基本方針 〕

理 念

『わたしたちは、医の倫理と人道・博愛の赤十字精神に基づき、心のかよう安全で良質な医療を実践します。』

基本方針

- 1 患者中心の医療…患者の人権と意思を尊重し、患者とともにチーム医療を実践します。
- 2 災害医療の充実…国内外の災害救護活動に積極的に取り組みます。
- 3 地域との連携…高度専門医療・急性期医療・救急医療をとおして、地域完結型医療に貢献します。
- 4 優れた医療人の育成…教育・研修・研究を推進し、人間性豊かな医療人を育て、医療水準の向上に努めます。
- 5 魅力ある職場づくり…働きやすい環境、誇りある職場を創ります。
- 6 健全経営…健全経営を持続し、医療活動を通じて社会に貢献します。